

平成25年度 三原ふるさと子ども博士講座

第2回 ヒョウモンモドキってどんなチョウ？ ～知ろう・見よう・守ろう～

担当課：生活環境課・生涯学習課

（ホームページ作成：生活環境課）

平成25年6月8日（土），くい文化センター・せら夢公園において「三原ふるさと子ども博士講座」の第2回講座を開催しました。

くい文化センターにて



広島市昆虫館の坂本先生から、ヒョウモンモドキについての話を聞きました。

現在、日本の中でも久井や世羅の限られた地域でしか見ることができない貴重な生物で、成虫が見られるのも一年を通して6月頃だけ。

湿地を好み、アザミなどがある環境で生息しているため、そういった環境を守らなければいけないという話など、希少なヒョウモンモドキについて事前学習をしました。

ヒョウモンモドキを実際に観察



ヒョウモンモドキ保全地域協議会の人などが環境整備した観測地点へ移動。



数匹でしたが、自然の中を舞うヒョウモンモドキが観察できました。

せら夢公園へ

午後からは、せら夢公園へ行きました。

まずは、講師の猪谷さんから、せら夢公園で観察できる生物やヒョウモンモドキの飼育ハウスについて説明を受けました。

自然観察園の中にあるハウス内でも、ヒョウモンモドキの生態に合わせた環境が整備され、成虫のヒョウモンモドキが観察できました。



湿地に整えられている自然観察園で、実際に生息している生物を覗いてみると・・・
おたまじゃくしやアマガエル、ハッチョウトンボなどを発見！

網を使って採取に挑戦！！



目で見て、手で触れて
自然観察園を楽しみました。



採取した生物は観察後、湿地へ放しました。
時間を忘れて、みんな夢中になりました！

最後に記念撮影♪



次回、第3回講座は7月21日（日）「星空浪漫・天文工作教室」です。